

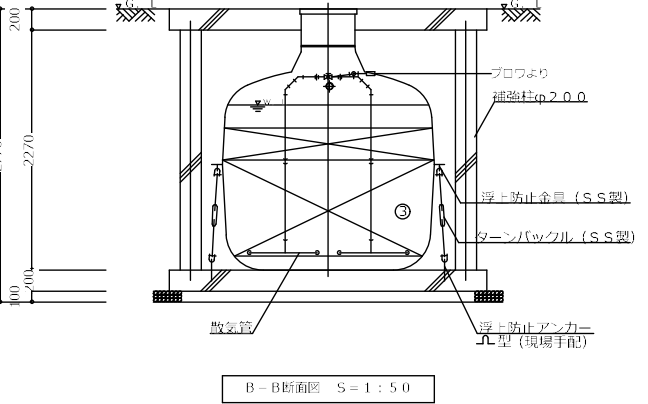
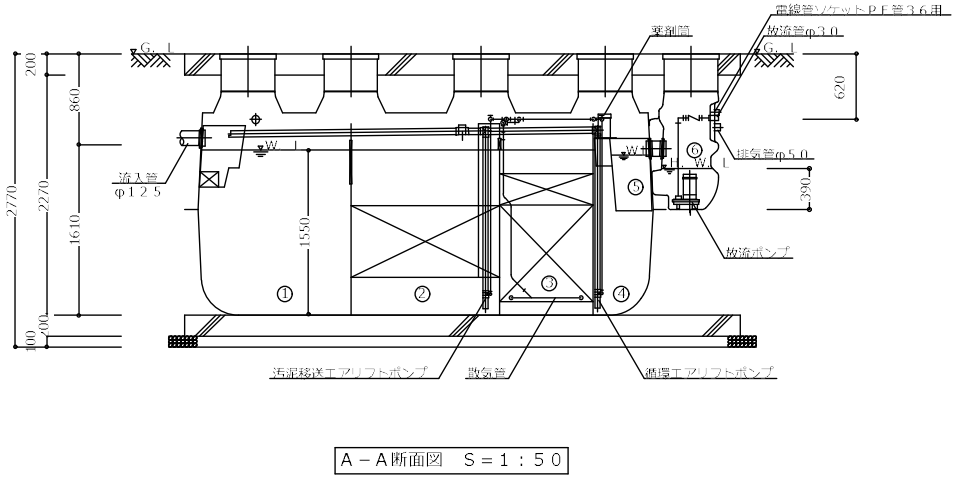
注1) 丸形FRPマンホール(ボルトロック式)を採用する場合
アジャスターを介して蓋枠をセットしてください。

注2) アジャスターを採用する場合最低嵩上げは100mmとなります。

注3) アジャスターとPVC嵩上げを含めて300mm以内としてください。

施工要領範囲					
MH	項目	裏上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
ボルトロック	最小寸法	100H	G.L-660	G.L-420	2570H
	最大寸法(この側面)	300H	G.L-860	G.L-620	2770H

注) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。
流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し+10mmの公差があります。



OSW2082B

フシクリーン 廃水処理装置			
日最大汚水量	7 m ³ /日		
流入水質	放流水質		
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L
COD	-	COD	-
SS	50 mg/L	SS	-
ノルマルヘキサン抽出物質	40 mg/L	ノルマルヘキサン抽出物質	20 mg/L
T-N	5 mg/L	T-N	-
T-P	1 mg/L	T-P	-
pH	5.8~8.6	pH	5.8~8.6
水温	40度以下	水温	-

<処理槽運転時の注意事項>

- ※ 排気設備を設けることとする。
- ※ 処理を阻害する有害物質の流入がないこと。
- ※ 堆積汚泥が清掃目安以上になった場合は清掃を行うこと。
- ※ 放流水の色味除去は保証できません。
- ※ 栄養塩処理は施設稼働日毎に必要な量を溶解後排水口に投入してください。
- ※ 弊社設定の保守点検及び清掃頻度での維持管理がなされていない場合、水質が超過することがあります。

番号	名称	有効容量	単位
①	洗設分離槽	3,990	m ³
②	嫌気ろ床槽	3,990	m ³
③	接触ろ床槽	2,520	m ³
④	処理水槽	1,381	m ³
⑤	消毒槽	0,105	m ³
⑥	放流ポンプ槽	0,105	m ³

機器装置仕様					
プロフ	吐出量	口径	消費電力	運転方式	台数
	300L/min	φ20	230W	連続運転	1
放流ポンプ	吐出量	口径	出力	運転方式	台数
	100L/min	φ30	150W	自動交互運転	2
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	FRP(1500K)				
消毒剤	両形錠素剤				

配管仕様	露出配管(プロフ廻り)	V.P
	土中配管	φ40以下~V.P・φ50以上~V.U
	槽内配管	メーカー仕様

注1) 上部はT-6筒重とする。

注2) 機器電源は単相100V、総電力は530W(60Hz)、一次側引込電容量は15A以上とする。

注3) 図中の"G.L"は処理槽位置での仕上げレベルを示す。

注4) 浄化槽からプロフまでの距離は5m以内とする。

注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は処理槽工事範囲外とする。

注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は処理槽工事範囲外とする。

注7) プロフ付近にアース付きコンセント×3を設置すること。設置は処理槽工事範囲外とする。

注8) 地耐力は47KN/m²以上必要とする。(実際の工事業者が確認後施工の事)

注9) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	V.U50
電線管	P.F.D.36

注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。接続工事は処理槽工事範囲外とする。

注2) 排気管の放出部は、制溝の最大水位より100mm以上(目安)上部に設置のこと。

注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。

注4) 排気管は途中で水漏りが起こるようなV字配管にしないこと。

注5) 電線管の両端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと。

注6) これらの処理を怠ると、処理槽内で発生したガスが処理槽内、および電線管の接続先付近に設置している設備・機器の金属類を腐食し、機器破損・障害の生ずるおそれがあります。

Client Work name Drowing title Scale Date Sign No

NPO日高わのわ会 様 新装工事 排水処理槽詳細図 1/50×70% 2024/12/3 G-01